

## 米コロナ感染、変異株「JN. 1」が39—50%占めると想定=CDC

12/23 ロイター



[22日 ロイター] 米疾病対策センター（CDC）は22日、国内の新型コロナウイルス新規感染者数のうち、変異ウイルス系統「JN. 1」に感染している割合が23日時点で39—50%を占めるとの予測を示した。

8日時点では国内で15—29%を占めると見込んでいた。

JN. 1の割合が上昇していることについて、CDCはJN. 1が他の変異株よりも感染力が強い、または免疫システムを回避する能力に優れていることを示唆していると指摘。ただJN. 1が感染者数や入院者数の増加を引き起こすかどうか、引き起こすとしたらどの程度なのかを認識するのは時期尚早とし、既存のワクチン、検査、治療法はまだJN. 1に対し有効とした。

世界保健機関（WHO）は19日、新型コロナウイルスのオミクロン株から派生した「JN. 1」を「注目すべき変異株」（VOI）に指定したと発表した。「急速に拡大している」ため。

JN. 1はインド、中国、イギリス、アメリカなど世界各地の国々で確認されている。

WHOは、公衆衛生へのリスクは今のところ低く、現行のワクチンで予防効果が得られると説明。ただし、この冬は新型ウイルスや他の感染症にかかる人が増える可能性があるかと警告している。北半球では、インフルエンザ、呼吸器合胞体（RS）ウイルス、小児肺炎などの呼吸器系ウイルスも増加傾向にある。新型ウイルスは常に時間とともに変化しており、ときおり新たな変異株が生まれている。ここしばらくは、オミクロン株が世界的に優勢な変異株となっている。